

熱海市デジタル化対策工程表

平成22年 8月20日第一次策定
平成22年12月27日第二次策定
平成23年 6月17日第三次策定

1 受信実態

アナログ放送では、静岡波の個別受信可能世帯は70%程度^(注1)であるが、ケーブルテレビや小規模有線共聴施設で視聴している世帯は50%程度^(注2)であり、また、関東波（東京親局や小田原中継局等）を個別アンテナで受信し視聴している世帯が多い。

デジタル放送では、静岡アナログ波が視聴可能であった世帯のうち、6地区1,712世帯^(注3)でデジタル受信が困難となるほか、関東波については、熱海市の27%程度の世帯でデジタル波が受信できなくなると推定^(注4)される。

また、静岡波及び関東波とも受信不可となる地域世帯は4地区56世帯^(注3)である。

2 類型別の対応手法

(1) 新たな難視地区（Ⅰ類）

静岡デジタル波が受信不可となる相ノ原地区40世帯については、静岡地上デジタル推進協議会（以下「推進協議会」という。）が熱海市やデジサポと連携し、国の補助制度を活用した小規模有線共聴施設の整備を終えている。

網代地区の800世帯及び和田山地区の800世帯では、放送事業者が対策用中継局設置を計画していたが、技術的な理由等によりアナログ停波までの開局が困難となったことから、対象世帯が開局後に確実に受信できるように放送事業者が責任をもって対策手法やスケジュールを示すとともに、衛星による暫定的難視対策を平行して進めている。

更に、伊豆山三井不動産伊豆山別荘地区33世帯、上多賀自然郷地区37世帯及び上多賀地区海光園奥地区2世帯については、衛星による暫定的難視対策を実施している。

(2) 関東波難視地区（Ⅱ類）

泉（中沢1号橋付近）の10世帯については、静岡波（アナログ及びデジタル）が受信不可であるため、関東アナログ波（東京親局、小田原中継所、湯河原中継所）を受信している世帯であるが、デジタル波が受信不可となることから、高性能等アンテナによる視聴又はケーブルテレビへの加入による対策を進めていたが、全ての世帯がケーブルテレビへの加入を終えたため、対応を完了した。

また、泉地区22世帯については、高性能等アンテナを使用しても受信不可となるため、共聴施設を整備することとしているが、デジタル移行までの実施が困難であるため、衛星による暫定的難視対策を実施する。

下多賀地区9世帯については、高性能等アンテナによる対策を実施することとして

いたが、デジタル移行までの実施が困難であるため、衛星による暫定的難視対策を実施している。

(3) 通常対策地区 (Ⅲ類)

デジタル放送においては、90%以上の世帯が静岡波又は関東波のいずれかの受信が可能であることから、熱海市が広報誌やコミュニティー放送等による一般的な周知のほか、デジサポは、昨年、常設型の定点相談会において、地デジアドバイザーが相談内容やアドバイスを記載した「地デジ相談カルテ」を相談者に手交し、相談者からの要請に応じて地デジサポーターが戸別訪問するなどの体制の強化を図った。

更に、デジサポは、地デジ化協力店として登録された電器店や量販店に対し、地域に適した受信方法に関する情報提供を行うための研修会を開催した。

また、JR東海道線の駅周辺地域及び山間部地域の一部等において、静岡波の受信は可能だが関東波の受信が不可になると推定される地域世帯に対しては、個別アンテナに関する受信指導等の必要性もあることから、昨年の常設型の定点相談会に加え、アナログ放送が終了する前後の6月15日から8月26日までの間、熱海市役所及び地区集会所等に視聴者と直接対面して対応できる身近な臨時相談コーナーを置いて、地域事情に応じた助言を行うほか、必要に応じ地デジサポーターによる戸別訪問及び関係機関・団体の紹介を行う。

東海総合通信局は、地域で異なる地デジ受信方法について、電器店や量販店、ケーブルテレビ事業者等の部会関係者が市民に適切にアドバイスできるよう、可能な限り多くの情報を提供する。

(4) アナログ難視地区 (Ⅳ類)

ケーブルテレビで視聴している世帯に対しては、ケーブルテレビ事業者がデジタル契約への働きかけを積極的に行う。

デジタル対応が完了している辺地共聴施設(13施設)で視聴している世帯に対しては、通常対策地区(Ⅲ類)と同様、関係者による一般的周知によりデジタル化対応を働きかける。

3 地区毎の対策

(1) 泉地区 (約1,200世帯)

泉地区は神奈川県境に接しているため、静岡アナログ波の受信が不可となる地域であり、多くの世帯が関東波を受信し視聴している。また、ほぼ全域がケーブルテレビサービスエリアとなっている。

デジタル放送では、東京親局からの受信が若干困難となるものの、小田原中継局又は湯河原中継局のいずれかの受信は可能である。

しかし、中沢川上流の泉(中沢1号橋付近)地区10世帯では山陰による影響でデ

デジタル放送が受信不可となっているため、国の補助制度を活用した高性能等アンテナによる対策を進めていたが、ケーブルテレビ加入による対応が完了している。また、泉地区22世帯については、デジタル移行までの対策実施が困難であるため、衛星による暫定的な難視対策を実施している。

地区名	難視区分	難視世帯	対策手法	進捗
泉	関東波難視	22	共聴施設の新設・衛星	衛星対策中
泉（中沢1号橋付近）	関東波難視	10	高性能等アンテナ対策	完了

(2) 伊豆山地区（約2,300世帯）

伊豆山地区は、熱海中継局や三島中継局がほぼ見通せるため、静岡波の受信が可能な地域である。一方、関東波については、東京・神奈川方向から山陰となる位置関係にあるため、デジタル波については、ほぼ全域で受信が困難となる。

伊豆山（三井不動産伊豆山別荘地）（33世帯）では静岡デジタル波が受信不可となるため、衛星による暫定的難視対策を実施し、引き続き恒久的な受信対策を進めていく。

地区名	難視区分	難視世帯	対策手法	進捗
伊豆山 （三井不動産 伊豆山別荘地）	新たな難視	33	衛星	衛星対策中

(3) 熱海地区（約12,000世帯）

熱海東部地区及び熱海中部地区は伊豆山地区と同様、静岡波の受信が可能な地域である。関東波についても伊豆山地区と同様の受信環境にある。

相ノ原地区40世帯では共聴施設の設置を終えている。

また、和田山地区では約800世帯に新たな難視が確認されていることから、推進協議会では、NHKが熱海錦ヶ浦中継局の整備を、NHK及び民放が熱海網代中継局の整備を計画していたが、NHKについては本年3月に開局したものの、民放（静岡放送、テレビ静岡、静岡朝日テレビ及び静岡第一テレビ）については、東日本大震災の影響によりアナログ放送終了後の開局となったため、衛星による暫定的難視対策を実施し、対象の地域住民が混乱しないよう推進協議会はより丁寧な説明を実施している。

地区名	難視区分	難視世帯	対策手法	進捗
相ノ原	新たな難視	40	共聴施設新設	完了
和田山	新たな難視	800	熱海錦ヶ浦・熱海網代中継局・衛星	衛星対策中

(4) 上多賀地区 (約1,600世帯)

上多賀地区では山間部を中心に関東アナログ波（東京親局）を個別アンテナ受信している世帯もあるが、多くの世帯がケーブルテレビ又は有線共聴施設で視聴している。

また、自然郷地区37世帯及び海光園奥地区2世帯では、静岡デジタル波が受信不可となっているため、一旦、衛星による暫定的難視対策を実施し、引き続き恒久的な受信対策を進めていく。

地区名	難視区分	難視世帯	対策手法	進捗
上多賀自然郷	新たな難視	37	衛星	衛星対策中
上多賀海光園奥	新たな難視	2	衛星	衛星対策中

(5) 下多賀地区 (約2,900世帯)

三島中継局及び熱海中継局が難視となる地域であるが、関東波（東京親局、小田原中継局）が比較的良好に受信できる地域であり、また、ほぼ全域がケーブルテレビのサービスエリアとなっている。

山間部の奥に入り込んだ地域の2地区24世帯が関東デジタル波が受信不可であるため、一旦、衛星による暫定的難視対策を実施し、引き続き恒久的な受信対策を進めていく。

地区名	難視区分	難視世帯	対策手法	進捗
下多賀	関東波難視	9	高性能等アンテナ対策・衛星	衛星対策中
下多賀（菖蒲橋付近）	関東波難視	15	衛星	衛星対策中

(6) 網代地区 (約860世帯)

アナログ放送では、網代地区は三島中継局が良視となる地区であるが、和田山地区同様のデジタル難視（800世帯）が確認され、静岡波の視聴が困難となっている。

このため、推進協議会では、熱海網代中継局の整備による対策を計画しているところであるが、和田山地区と同様、衛星による暫定的難視対策を実施し、引き続き恒久的な受信対策を進めていく。

地区名	難視区分	難視世帯	対策手法	進捗
網代	新たな難視	800	熱海網代中継局・衛星	衛星対策中

4 その他の課題

(1) 難視世帯からの申告により判明する世帯単位のデジタル難視への対応

デジタル波の受信が可能とされている地域においても、樹木や局地的な地形等の影響により世帯単位での難視の発生が想定される場所であるが、難視原因や対策実施には一定期間を要するため、今後は、これらの難視については過渡的な対応として、難視世帯からの申告による暫定的難視対策を実施していく。

(2) 暫定衛星対策の一時利用の対応

アナログ放送終了まで2ヶ月を切り、アンテナ工事やケーブルテレビへの加入工事等の遅れにより、7月24日までにデジタル化の対応ができなくなる世帯等が想定されるため、本年末までの過渡的な措置として地デジ難視対策衛星放送の利用（設備支援はしない）を可能とする。

地デジコールセンター及びデジサポでは、今年6月から申込書の配布を開始し、併せて、自治体や電器店においてはポスターの掲示及び申込書の据え置きにより、テレビの継続的視聴を確保しつつ、その間にデジタル化への対応を進める。

(3) 一般的周知の実施

中継局設置により受信可能な地域世帯に対しては、デジサポによる定点相談会（熱海観光会館（8/2～8/8）、南熱海マリンホール（8/9～8/15）、泉公民館（8/18～8/20）及び中道公民館（8/23～8/25））を41回、説明会を4回、高齢者等への戸別訪問を2件行ったほか、熱海市では、広報誌やコミュニティ放送を活用し、中継局整備のスケジュール、アンテナや宅内受信設備の変更工事の必要性について地域住民に適切な情報提供を行った。

平成23年7月24日のアナログ終了に向け、東海総合通信局及びデジサポは、民生児童委員等の協力を得、特に高齢者等に対する地デジ移行への対応を促進するための地デジボランティア活動を積極的に展開する。

(4) 身近な臨時相談コーナーの設置

デジサポは、視聴者等からの相談に対して直接対面して対応できるよう、南支所（6/15～6/24）、本庁舎（6/27～7/1、7/10～8/26）及び泉支所（7/4～7/8）において、対面型の臨時相談コーナーを設置し、地域事情に応じた助言を行うほか、必要に応じて地デジサポーターによる戸別訪問及び関係機関・団体の紹介を行う。

(5) 受信障害対策共聴施設の対応等

受信障害対策共聴施設（ビル陰共聴施設）は、15施設が把握されているところであるが、11施設がデジタル化済みであり3施設がアナログ放送終了までにデジタル化を終える予定となっている。

また、集合住宅共聴施設は、872施設が把握されているところであるが、30施設がデジタル化未対応となっており、引き続きデジサポは対象となる施設管理者等に

対して施設の改修等についての周知徹底を図る一方、過渡的な措置として衛星による暫定的難視対策を進めていく。

なお、放送事業者は、アナログ放送での告知スーパーを原則常時表示しており、ビル陰共聴施設の対応及び集合住宅共聴施設の改修等の課題についての注意喚起を行っている。

(6) 店頭における受信アドバイス

受信設備の変更やケーブル加入が必要な地域世帯に対しては、店頭における受信アドバイス、受信設備工事、ケーブル加入契約が適切に行われるよう、地域の電器店、工事業者、ケーブルテレビ事業者と受信方法に関する情報共有を引き続き図っていく。

(7) 関係者による最終サポート体制

アナログ放送終了前後には、1次対応窓口となる総務省地デジコールセンターの他関係事業者・団体にも多くの電話相談が寄せられるものと想定されることから、熱海市、東海総合通信局、NHK静岡放送局、民放、デジサポ等、関係者相互間において、地上デジタル放送静岡県連絡調整会議における電話相談マニュアルに基づき住民からの問い合わせに対して的確に対応できるサポート体制を確立する。

注1 地上デジタルテレビ放送市町村別ロードマップ（2008.6.30）

注2 ケーブルテレビへの加入数は、平成22年2月に総務省が事業者から聴取した数値であり、一般世帯の他に事業所による契約数を含む。また、小規模有線共聴施設は、平成23年3月現在で総務省がNHK及び熱海市の協力を得てとりまとめた辺地共聴施設。

有線施設名	施設区域	世帯数（端子数）	デジタル化対応
(株)伊豆急ケーブルネットワーク	熱海市	7,200	対応済み
(株)熱海テレビ	西山町他	1,500	対応済み
(株)臨海ホテル	汐見町	40	対応済み
新光アンテナ設備	緑ヶ丘	481	対応済み
クボタデンキ	汐見町	700	対応済み
中央渚ホテル	汐見町	50	直接受信
網代港テレビ共聴組合	網代大谷山	165	対応済み
		10,136	

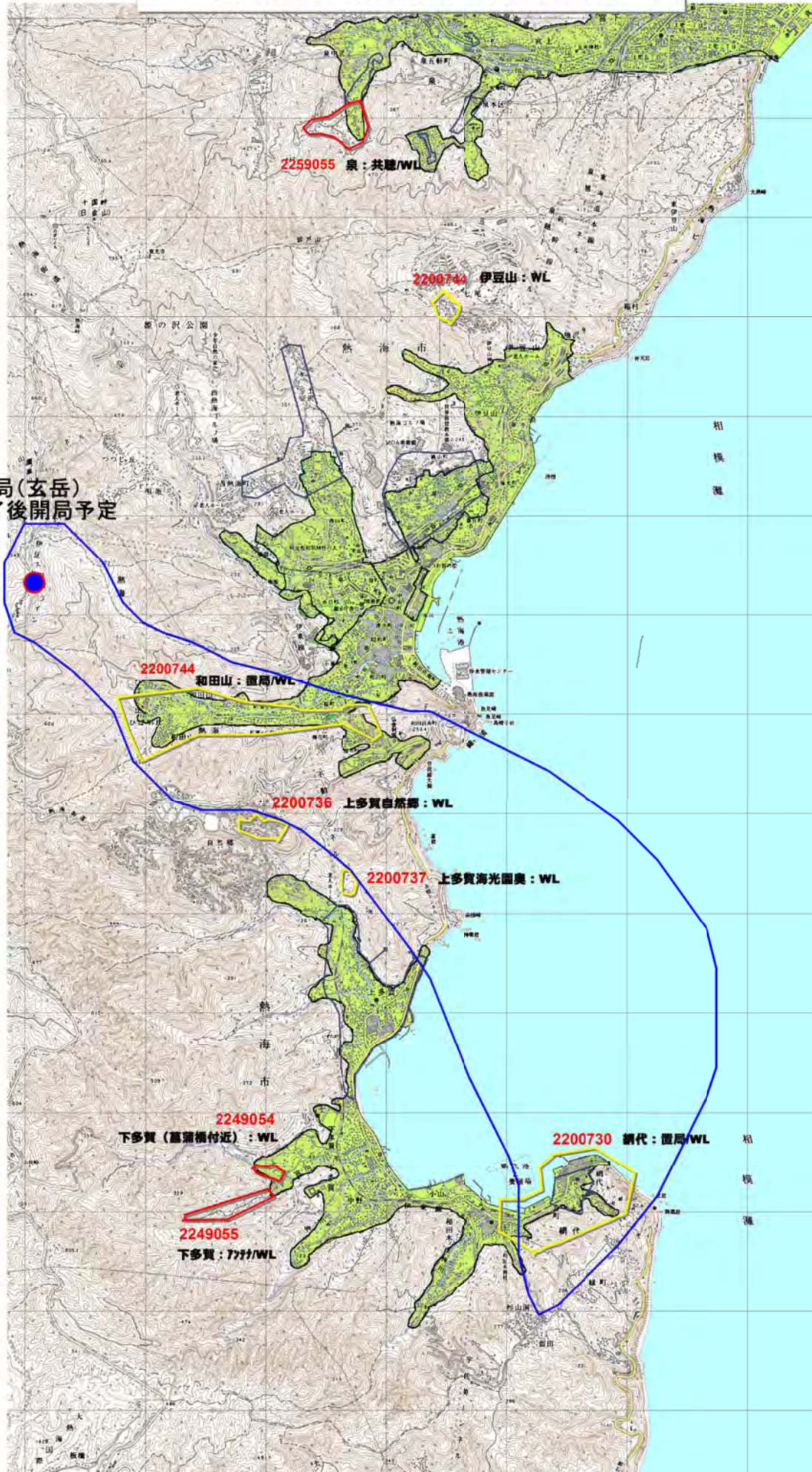
注3 東海総合通信局及び静岡デジタル放送推進協議会が調査により平成23年5月20日までに特定した難視地区、世帯数。

注4 100m四方の区域単位で計算した電波の強さから、デジタル放送が受信できなくなると推定される地域（難視地区）及び当該地域の統計上の世帯数を集計したものであり、ケーブルテレビや共聴施設による視聴実態及び静岡波または関東波の個別アンテナによる視聴実態等は考慮していないため実際の難視世帯とは異なる。

難視地区別 対策工程表(熱海市)

市町名	難視地区		世帯数	難視状況	対策手法						実施済	実施中	S N	対策完了
	地名	管理番号		難視区別	中継局	共聴	アンテナ	C加入	C延長	W L				
熱海市	泉(中沢1号橋付近)	2259065	10	区			●				10	0	0	対策完了
熱海市	泉	2259055	22	区		●				●	0	0	22	SN
熱海市	相ノ原	2200751	40	新		●					40	0	0	対策完了
熱海市	和田山	2200744	800	新	●					●	0	0	800	SN
熱海市	伊豆山(三井不動産伊豆山別荘地)	2200759	33	新						●	0	0	33	SN
熱海市	上多賀自然郷	2200736	37	新						●	0	0	37	SN
熱海市	上多賀海光園奥	2200737	2	新						●	0	0	2	SN
熱海市	下多賀(菖蒲橋付近)	2249054	15	区						●	0	0	15	SN
熱海市	下多賀	2249055	9	区			●			●	0	0	9	SN
熱海市	網代	2200730	800	新	●					●	0	0	800	SN

難視対策検討地区 (熱海市)



熱海網代中継局(玄岳)
アナログ放送終了後開局予定